

i-Construction説明会

日時：平成30年12月13日 午前

場所：山口南総合センター1階 多目的ホール



司会進行：山口県 技術管理課

対象：国・県・市町職員、県内建設会社・県内コンサルタント
参加人数：88名



「i-Construction」の更なる推進について
国土交通省中国地方整備局 企画部 技術管理課

建設業を取り巻く状況

「i-Construction」の推進
ICT土工の実施状況と効果
ICT土工より効果を高める工夫
補助金・税制等 などの説明

ICT土工より効果を高める工夫

- ・ ICT活用工事の必須要件（3次元出来形管理）の緩和
- ・ ICT活用工事の実施体制の課題⇒ ICT施工のノウハウを、地元企業に普及
- ・ 小型建機も既存パーツ活用でICT建機に
- ・ 山口県ICT活用工事に係る勉強会（H30.8.10）での注目のコメント
小さい現場でも、測量に関しては3次元でやった方が格段に早い。
i-conで儲けるためには、「現場で困っていること」「会社で困っていること」から取り組む。



i-Constructionのいろは
(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所

I C T活用工事とは
I C T土工の実施内容と事例紹介
監督・検査の実施事項
I C T活用のポイント などの説明

(まとめ)
I C T活用工事は、生産性向上の第一歩。
I C Tを使いこなすことが大切です。
3 DデータやI C T機器を活用することで、データを活用した進捗管理や
他工種（構造物など）の位置出しなどいろいろな使い方が可能です。普段
使いや稼働率が上がる工夫をして、現場ならではの使いこなしを見つける
ことが大切です。